

## 静岡県柿田川工業用水道事業の紹介

### ○事業の主旨

柿田川は水源を富士山及び箱根山等に仰ぐ三島湧水群の最末端に位置し、日量100万m<sup>3</sup>/日以上  
の水量を有している。

当三島駅周辺は熱海市・伊豆長岡など観光地への交通の要所として、また、京浜・中京工業地帯の中間点として立地性に恵まれ近年繊維機械等の立地がめざましく昭和43年以来その生産額は伸長の度を増している。従って、水需要も増大することとなり、豊富な水量を誇った周辺の湧水も減少の傾向を示すに至り、県では用水型企业を対象に地下水からの転換を計画し、その水源の豊富さと良質で知られる柿田川に求め、清水町堂庭地先から、108,000m<sup>3</sup>/日を取水し、北部の工業地帯へポンプ圧送しているものである。

### ○事業の経緯

当事業は給水能力100,000m<sup>3</sup>/日の柿田川工業用水道建設計画を立て、昭和40年度に着工し、昭和44年度に完成、一部給水を開始し、昭和46年3月からは全量給水となっている。

### ○ユーザーの概要

(平成20年3月末現在)

業種	給水件数	契約水量 (m <sup>3</sup> /日)
化学	2	99,030
石油製品		
金属製品	1	820
その他	1	150
計	4	100,00

### ○工業用水道施設の概要

柿田川工業用水道は堂庭取水所から柿田川の表流水を取水し、マイクロストレーナーにより浄水後、横型両吸込渦巻ポンプ（径450×300mm、350kW）により取水所からφ1000mmの送水管（管路延長4,460m）にて長泉町にある配水池（配水容量約4,000m<sup>3</sup>）へと送水している。

### ○事業の特徴

柿田川工業用水事業の水源は、年間を通じ水量水温に変動が少なく、水源として好条件にある柿田川に求めたことで、浄水も除塵機およびマイクロストレーナーによる水中の浮遊物の除去のみであり、原水をそのまま供給している。そのため料金も昭和56年より10円/m<sup>3</sup>という安価な設定になっており、現在給水能力満度の給水を行っている。

### ○1日100万m<sup>3</sup>を越す湧き水

柿田川の水量は、年間を通じて日量100万m<sup>3</sup>ほどで水温は15℃前後と夏は冷たく冬は暖かく感じられる。地下で自然浄化された水質は天下一品で濁りもなく、透明度の極めて良い清水で、名水百選にも選ばれています。川の長さは国道一号線のすぐ下から湧き出して一級河川狩野川に合流するまでの1,200mである。

### ○そのまま飲めるに美味しい水

川の上流部のだくさんの「わき間」からわきだしている水は、そのまま飲み水として利用できるほど良質なものである。地下にしみこんだ雨（雪）は地下水となり、三島溶岩流の間をゆっくりと流れる間に自然浄化され、良質な水になる。

### ○静岡県企業局のホームページアドレス

<http://www.pref.shizuoka.jp/kigyou/>  
(給水区域図：次ページ上に掲載)

○柿田川工業用水道概要図

